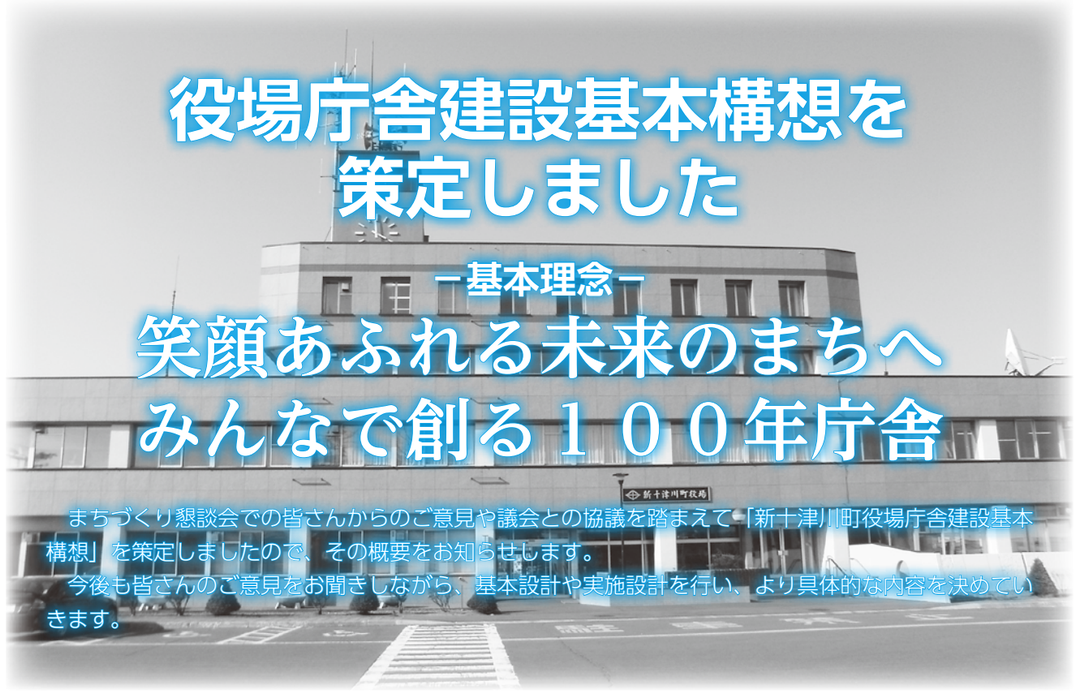


【スケジュール】

年　度	項　目	内　　容
H29	基本設計	配置、面積、デザイン、レイアウト、概算工事費などを設計
H30	実施設計	構造や設備の詳細、工事費の内訳などを設計
H31～32	建築工事	建物本体の建築工事を実施
H33	外構工事など	新庁舎完成、駐車場、車庫・倉庫の建築、旧庁舎の解体工事など

【基本方針】

■全ての人が利用しやすい庁舎

ユニバーサルデザインを取り入れ、年齢、性別、障がいの有無などに関わらず、全ての人にとって利用しやすい庁舎を目指します。

■防災拠点となる強い庁舎

災害の発生時に町民の生活を守るため、耐震性、安全性に優れ、防災拠点施設として機能する強い庁舎を目指します。

■機能的で柔軟性のある庁舎

まちづくりの核となる施設として、時代の変化に対応して、その機能や役割を変化させることができる柔軟性を備えた庁舎を目指します。

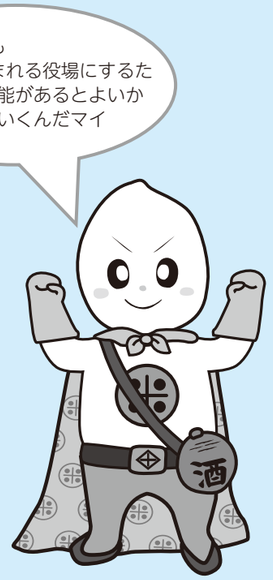
■経済的で維持管理しやすい庁舎

維持補修や設備更新などに対応しやすい設計とし、省エネルギーや新エネルギー技術を導入することなどを検討し、経済性に優れ、環境にも配慮した維持管理しやすい庁舎を目指します。

【基本機能】

全ての人にとって利用しやすく、町民の皆さんに親しまれる施設とするため、次のような機能を持たせたいと考えています。

■効率的で利用しやすい窓口
■プライバシーに配慮した相談室の配置
■わかりやすい案内表示
■交流や憩いの場として自由に活用できるスペース
■バス利用者の待合スペース
■明るく親しみやすい議場
■「開かれた議会」の推進に向けた設備の充実
■停電時にも対応できる非常用発電設備
■地震や水害などの災害に強い建物
■防災拠点となる強い庁舎
■オープンフロアを基本とした執務空間
■拡張性があり多用途に使用できる会議室
■省エネルギーに配慮した照明・空調設備
■個人情報や行政情報を適正に管理するセキュリティ設備
■消防庁舎の併設



【規模・面積】

新庁舎面積（消防庁舎含む）　　３，０００㎡～３，６００㎡

現在、庁舎外の施設にある窓口機能を新庁舎に集約することで配置する職員数が増えること、バス待合所や交流スペースの設置、消防機能の強化に向け消防庁舎面積を大きくすることなどにより、現庁舎の面積（約3,400㎡）から、最大200㎡程度増える見込みです。

また、現庁舎の敷地に新庁舎を建てるため、効率的な配置を考慮し、既存の車庫や消防団詰所も建替える予定です。

新庁舎の面積は、将来の人口減少を見据えコンパクトにするよう努める必要がありますが、新たに加える機能や業務の多様化、職員配置の変更など役場組織の将来像も考慮し、長期的な視点で検討します。

【事業費】

事業費は総額25億円と見込んでいますが、費用の抑制に努めるとともに、補助金の活用や貯金の積み立てなどにより、他の行政サービスに影響を与えないように事業を進めていきます。

■**問合せ**：庁舎建設推進事務局　☎76-2131